

第6学年国語科学習指導案

日 時 平成18年10月20日(金)6校時
指導者 木村千之
児 童 男5名 女11名 計16名

- 1 単元名 共に考えるために伝えよう 「みんなで生きる町」
資料「多くの人が使えるように」

2 単元について

(1) 主な目標

本単元の主たる指導事項は、「考えた事や自分の意図が分かるように話の組み立てを工夫しながら、目的や場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。」(ア)である。

アの事項では、伝えたい相手や共に考えたい相手と、自ら考えた事柄や相手に伝えたい事柄の設定が大切になってくる。自分が考えた事や話す意図を相手に正確に伝えたいという目的の実現に向かって児童が活動する時、「話の組み立てを工夫しながら、相手に分かりやすく伝えること」を意識するようになると思われる。

そこで本単元では、「調べたことがクラスの友達に分かりやすく伝わるように工夫して発表する。」「話し合いを通してみんなの考えをよりよいものに練り上げる。」を主な目標とする。

(2) 児童の実態

児童は、これまで6年「学級討論会をしよう」では、一つの問題を肯定・否定の両面から考えることによって、新しい解決策を見つける努力をする学習を経験してきている。

事柄を順序だてて話すことや自分の考えと友達の考えを比べながら聞いたりすることはできるが、それを生かして話の組み立てを工夫したり、自分の考えの根拠などを分かりやすく話したりすることが苦手である。考えが浅く、多角的により深く考えることも苦手である。

(3) 指導にあたって

この教材は、身の回りの公共施設が「だれもが利用しやすい」ものになっているかという問いに対して、実際に観察したり体験したりすることによって、理想と現実の差異を発見し、課題が作られる。ここでは、その課題を一人で解決するのではなく、話すこと、書くことで伝え合って、共に考えていこうとするものである。そのためには、調べたり考えたりした課題の中から、伝えたい事柄や伝えたい相手を明確にし、伝えたいことを相手に分かりやすく話し、それに対しての友達の意見を聞いたり、お互いに意見を述べ合ったりすることによってより考えが深まっていくということを大切に指導していきたい。特に、今回の調べる活動では、観察や体験を通してテーマが同じ児童たちでグループを作り、グループごとにユニバーサルデザインの工夫点を調べさせることで、より多くの工夫点や改善点を見つけさせ、伝えたい事柄や伝えたい相手を明確にし、次の考えを深める場面につなげていきたい。

3 単元の目標

(1) 関心・態度・意欲

多くの人が使えるようになることを考えて、身近な施設や物に関心を持ち、進んで調べたり発表したりしようとする。

(2) 話すこと・聞くこと

調べたことがクラスの友達にわかりやすく伝わるように工夫して発表することができる。話し合いを通してみんなの考えをよりよいものに練り上げることができる。

(3) 書くこと

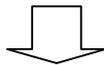
多くの読み手に提案内容が伝わりやすいように組み立てを工夫してまとめることができる。提案内容を理解してもらえるように、具体的に説明することができる。

4 学習計画（13時間扱い）

前単元から

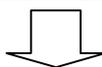
「学級討論会をしよう」

賛否が分かれる問題について、それぞれの意見の長所・短所を分析的に考え、相手を説得する話し方を工夫したり、相手の論点を聞き取ったりして、結論を導こうとして討論する。



段階	主な学習活動（時間）	学習活動の工夫	主な評価規準
みとおす	1 教材文を読み、学習の見通しを立てる。（1）	・「みんなで生きる町」という言葉の意味について話し合い、イメージを広げるようにする。	単元全体の学習の見通しを持っている。（観察）
ふかめる	1 「ユニバーサルデザイン」の視点で、身の回りにある施設や物についての問題意識を持ち、調べる計画を立てる。（1）	・取材計画書を書かせ、取材のめあてを明確にする。	進んで取材計画を立てている。（ワークシート）
	2 学校、公共施設、身の回りで使われている道具等で現在どんな工夫がされているか、これからどんな工夫が必要かを調べる。（2）	・テーマが同じ児童でグループを作り調べる。 ・予想される取材先や予想される対象物をあらかじめ考えさせ、視点がそれないようにする。	「よさ」や「改善すべき点」を見つけている。（ワークシート）

	3 調べたことを整理し、発表の準備をする。(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・付録の CD を参考にしながら、自分の発表メモを考えていくようにする。 ・分かりやすく伝えるための資料作りをさせる。 	発表メモを書いたり、提示資料を作成したりする。(発表メモ・提示資料) 意欲的に発表練習をしている。(観察)
	4 取材して分かったことと、自分たちの考えを発表し合う。(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに発表する。 ・自分の考えに取り入れるようにメモをしながら聞くようにさせる。 	分かりやすく発表している。(発表) 友達の意見を聞き、意見交換したり、メモをとったりしている。(ワークシート)
	5 グループごとの発表を聞いて、自分の考えを発表し、話し合う。(1) 本時 1 / 1	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの意見を整理統合しながら、自分の作文に役立つようにさせる。 	自分の考えの参考になることや共感できることなどを話し合い、書き込んでいる。(ワークシート)
まとめる	1 教科書の文章例をもとに、提案する相手や方法、形態等について話し合う。(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・提案の内容や地域にあった有効的な方法について考えさせる。 	提案する相手や方法、形態等について発言する。(発言)
	2 第 2 次の話し合いで深まった考えを、提案として分かりやすく文章にまとめる。(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・発表メモや話し合いで使ったワークシート等を参考にし、考えさせる。 	事柄と理由を具体的に説明している。(下書き)
	3 友達同士で読み合っ、意見を交換する。(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・相互評価の観点を掲示しておく、意見を書きやすいようにする。 	観点に沿って友達の意見文に書き込みをしている。(書き込み)
	4 よりよい提案となるよう加筆修正をして仕上げる。(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいた意見を取捨選択し、自分の作文に生かすようにさせる。 	自分の提案内容が伝わるように、組み立てを工夫して書いている。(提案書)



次单元へ

「今、わたしは、ぼくは」
小学校生活を振り返り、一番伝えたいことが効果的に伝わるようにスピーチをする。

5 本時の指導

(1) 目標

関心・意欲・態度

自分の考えや意見を進んで話し合おうとしている。

話すこと・聞くこと

自分の考えの参考になることや共感できることなどを話し合うことができる。

話し合いをよく聞き、参考になることや共感できることなどをメモすることができる。

(2) 本時の指導にあたって

本時は、グループがそれぞれ調べたことに自分たちの考えを加えて発表したことを受けて、話し合いで意見交換をし、自分の考えを深める学習である。

そこで、ここでは質疑応答や意見交換の中で、児童が自分の考えを明らかにしたり修正したりできるように前時までのメモや本時のメモを活用させ、自分の考えを活発に出し合えるようにしていきたい。

そのためには、挙手した児童の考えを発表させるだけでなく、同じような事例について発表した児童の意見を整理・統合したり、違った考えやアイデアを持っている児童を指名して発表させたりするなど意図的に話し合いを誘導する必要がある。また、前時での発表内容が分かるように、多目的ホールにグループごとの作成資料を提示しその場所で話し合いを進めたり、発表の主張点を一覧表にまとめたものを配布したりして話し合いに参加させたい。

(3) 展開

段階	学習活動（主な発問・児童の反応）	指導上の留意点（支援 評価）
みとおす 5分	<p>1 学習課題を確認する。 課題を読みましよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>友達の発表を聞いての意見交換をし、お互いの考えを深めよう</p> </div> <p>2 話し合いの観点を確認する。 話し合いの観点はなんですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の発表で自分の考えの参考になること。 ・共感できること。 ・改善点。 ・疑問点。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的ホールの資料の掲示している場所で話し合いをする。 ・考えを深めるとは、今の自分の考えに友達の考えも付け加え、より多様な考え方ができるようになることを確認する。 ・本時の大切な観点は何かを確認する。 参考になることとは、自分たちの調べたことや考えに新たに付け加えることのできる考え方であることを確認する。

ふかめる 35分	<p>3 発表を振り返り、話し合いをし、考えを深める。 それぞれのグループの発表に対して、初めて知ったことや自分の考えと似ているところ、改善点について話し合いましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Aグループについて ・ Bグループについて ・ Cグループについて ・ Dグループについて ・ Eグループについて ・ Fグループについて ・ Gグループについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに資料を掲示しておき、そのグループごとに意見や感想を出し合いながら進めていくようにする。 友達について意見交換をしたりしながら、自分の考えの参考になることや共感できることなどを話し合い、メモに書き込むことができたか。（発言・様子・メモ） ・前時のメモにそれぞれのグループの発表に対しての自分の考えが書かれているのでそれを活用し、意見を出させる。 ・関連する意見など前時のメモをもとに意図的な指名もする。 ・自分の考えの参考になる考え方は、メモに書かせる。 ・発言できない児童にも、指名し感想などを発表させるようにする。 ・1グループにつき話し合いの時間は4～5分とする。
まとめる 5分	<p>4 学習を振り返る。 今日の学習を振り返りましょう。</p> <p>話し合いを通しての感想を発表しましょう。</p> <p>5 次時の活動を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いへ参加の仕方はどうであったかを自己評価させる。 ・話し合いをして、自分の考えの参考になった新たに自分の考えに付け加えたい点を中心に発表させる。

(4) 具体の評価規準と手立て

	A (十分満足)	B (おおむね満足)	C (努力を要する子への支援)
話す	友達の発表に対して、自分の考えと比べて意見を話し、お互いの考えを深めることができる。	友達の発表について自分の考えや意見を話すことができる。	事前に友達の発表に対する意見をまとめて書いたものを発表させる。
聞く	自分の考えの参考になりそうな意見をメモし、自分の意見と比較しながらメモすることができる。	自分の考えの参考になりそうな意見をメモすることができる。	友達の発表と自分の考えが似ている点に気づかせながらメモをさせる。

